

1 基本方針

学校は組織体であり、学校の力は、一人一人の教職員の力の結集である。個々の教職員が自らのよさを生かしてその力をその力を発揮し、かつ、それが一つのまとまり、調和、ハーモニーをなし、一体となる学校(組織)としていくことを求める。そのためには、一人一人の教職員の力量が学校力を左右する。そして、教職員が児童等の前で自ら範を示し、目標を掲げ、英知を結集し、共通理解・共通行動・共通協働をなすことで子供一人一人に積極的に関わることができる学校教育が可能となる。

七本木小学校の伝統とよき校風を築くため、積極的に地域・外部の教育力を取り込み、情報を発信することは、現代において不可欠である。学校・保護者・地域がそれぞれ信頼し合い、必要性を認めあえる学校づくりを推進し、以下のように「**知・徳・体**」のバランスのとれた児童の育成に全力で取り組む。

2 学校教育目標

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| 進んで学ぶ子 | 学びの面白さを味わわせ、問いをもって追求し表現する力を育てる。 |
| 元気でたくましい子 | 困難に立ち向かい、目標に向かって粘り強く行動できる心と体を育てる。 |
| おもいやりのある子 | 他者を思いやり、協力し、感謝の心を育てる。 |

3 目指す学校像

「かしこく やさしく たくましく 夢と笑顔と感謝のある 七本木小学校」

- ① できる喜び、わかる喜び、学ぶ面白さが味わえる授業を展開し、確かな学力を身に付けられる学校
- ② 安心で安全、潤いのある学校
- ③ 保護者や地域から親しまれ、認められ、信頼される学校
- ④ 教職員が範を示し、自らも学び続ける学校

4 目指す教師像

- ① 愛情…子供の成長を第一に考え行動し、誰一人取り残さない教師
- ② 誠実…明確な目標を立て、常に授業改善に取り組み、学力向上に結び付ける教師
共通理解・共通行動・共通協働する教師
- ③ 笑顔…心身共に健康的で、自分のよさを表現して子供に関われる教師

5 目指す児童像 『かしこく やさしく たくましく』を实践できる児童

- ① 当たり前のことを進んでできる子
- ② 目の前の事象に問いをもち、進んで学び、表現できる子
- ③ 自他の命を大切にし、相手意識をもって接することができる子
- ④ 困難に向き合い、目標に向かって粘り強くがんばる子

6 目指す授業像

- ① 学習への意欲や関心を喚起することができる授業
- ② 児童が「できる・わかる喜び」を実感できる授業
- ③ 学習規律が徹底した授業
- ④ 目的達成のために対話(学び合い)がある授業

7 本年度の重点目標(学校教育目標を実現するための具体的な取組)

「かしこく やさしく たくましく 夢と笑顔と感謝のある 七本木小学校」

(1)進んで学ぶ子「かしこく」の実現に向けて (夢)

- ①「主體的・対話的で深い学び」確実な実践にむけて、毎時間、**学習内容を明確**にした授業を行う。
- ② ICT機器を効果的に活用した授業を教科や単元の特性に応じてバランスよく使う。
学校応援団や関係機関等を活用した取組を充実する
- ③ 学習規律の定着のために、七本木小のきまりを基に毎時間、全職員で一貫性のある指導を行う。
・チャイム席、姿勢、話の聴き方、発表の仕方、話合いの仕方、机上の整理整頓等
- ④ 学力状況調査等を分析し課題を明確することによって、学校研究課題に取り組むことで、今求められている学力を身に付けさせる。
- ⑤ 教科担任制や交換授業を行い、少ない時間で効果のある学習を行う。

(2)おもいやりのある子「やさしく」の実現に向けて (笑顔)

- ① 誰一人取り残さない学級経営をする(**支持的風土のある学級**にすることで、一人一人が認められ、どの子も安心・安全に学校生活を送ることができる環境を作る。)
・子供を認め、ほめ、その気にさせる(自己肯定感を高めることにつながる)指導(ほめる材料を仕込む)
・心理的安全性の確保
・いじめを絶対許さない指導
- ② いじめや同和問題をはじめとする人権問題を全教育活動の中で行う。
- ③ 積極的な生徒指導を行う。
・小さな変化を見逃さない。**欠席や遅刻、早退、授業中等での表情、友達関係の変化等**に敏感に反応し、保護者や他の職員と情報を共有し、対応する。
・組織で対応し、改善を見届ける。
- ④ 積極的な特別支援教育を全教職員で行う。
・子供たち一人一人が特別な存在であると共通理解し、全教職員で対応する。
・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援員会を充実する。
- ⑤ 実生活における道德の「見える化」を体現させる。
・あいさつ、返事、適切な言葉遣い、主体的な清掃活動、思いやりのある言動、時間を守る。

(3)元気でたくましい子「たくましく」の実現に向けて (感謝)

- ① **感染症対策と熱中症対策を両立し**、安心・安全な学校環境を維持する。
- ② **体育の授業において運動時間を確保**することで、運動量を保証し、運動能力と運動への意欲を高める。
- ③ 健康教育を充実する。
・新体力テストの結果の分析と対応
・体育授業での運動量の確保、体育的行事の推進
- ④ あたりまえのことがあたりまえにできる子を育成する。
・挨拶・返事・靴そろえ・集中した清掃【上里町の子供を育てる合言葉】の充実
・感謝することに気づき、感謝の気持ちを言葉で伝える。さらに、感謝される行動を実践する。
・場に即した言葉遣い、時間を守る・チャイム席の実践
・5S運動の推進(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)
- ⑤ 歯や体の健康について関心を高め、虫歯の治療率の向上を図る。
- ⑥ 学校給食センターや栄養教諭等との連携を図り、食育指導の充実を図る。